

ヘルスケアセクター 成長ストーリーの確認

Vol.3 がんとアルツハイマー型認知症の治療薬

昨年は、大統領選挙を巡る不透明感などをうけ先進国株式全体が軟調に推移していました。中でもヘルスケア株式は、薬価問題などが懸念され低調な値動きとなりました。

しかし、バイオ医薬品の発展や、新興国の人口増加や所得増、先進国を中心とした世界的な高齢化の進展による医療費の増加等を背景に、ヘルスケアセクターは引き続き中長期的な成長が見込まれています。

中でも特に「医薬品」に着目し、成長ストーリーを3回にわたり探っていきます。Vol.3のテーマは「がんとアルツハイマー型認知症の治療薬」です。

● 適応領域広がるがん免疫治療薬 ●

進歩を続けるがんの治療法

がんの治療法には、基本的に「外科治療（手術）」「放射線治療」「薬物療法（抗がん剤治療）」の3種類があります。

かつての「薬物療法」では、患者の体内で増殖するがん細胞を直接攻撃する「化学療法剤」が主流でした。その後、技術の進歩に伴い、がん細胞の表面にあるたんぱく質や遺伝子をターゲットとして効率よく攻撃する「分子標的薬」が登場しました。

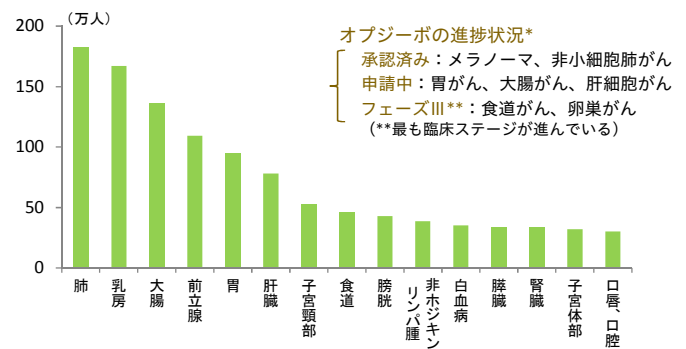
さらに、腫瘍免疫（がん細胞に対する免疫機構）の研究が進み、人間の体に本来備わっているがん細胞を攻撃する能力を高める医薬品「がん免疫治療薬」の開発が盛んに行なわれています。

将来的に、この腫瘍免疫市場は5-10兆円の規模に成長すると予想されます。

代表的な治療薬「オプジーボ」

このがん免疫治療薬の代表的な例として、「オプジーボ」が挙げられます。もともとメラノーマ（悪性黒色腫）の治療薬として、2014年に日本で初めて承認され、世界で活用されています。今後も、適応領域の拡大に伴う、売上の拡大が期待されています。

世界のがん患者数（上位15）



【患者数】基準年：2012年、出所：WHO「CANCER TODAY」のデータを基に三菱UFJ国際投信作成【オプジーボの進捗状況】基準日：2017年7月28日、出所：小野薬品工業「平成30年3月期 開発品の進捗情報」等のデータを基に三菱UFJ国際投信作成 *世界で最も開発が進んでいる主なもの

出所：ウエルントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーの見通しを基に三菱UFJ国際投信作成

■当資料に関してご留意頂きたい事項■当資料は、ヘルスケア市場に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は投資勧誘を目的とするものではありません。投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。クロースド期間のある投資信託は、クロースド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご注意ください。

設定・運用 三菱UFJ国際投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号 加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会

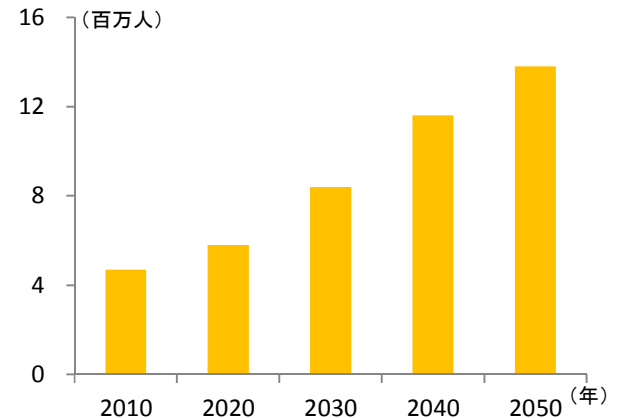
● 増加するアルツハイマー型認知症患者数 ●

アルツハイマー型認知症は、死因の上位に入る深刻な疾患でありながら、これまでメカニズムの解明が遅れていました。

現在、世界的な高齢化の進行により同疾患の患者が急増しています。治療が困難かつ長期にわたることから、新薬の開発が望まれています。

腫瘍免疫の市場と共に2大テーマとして注目されており、将来的には10兆円規模の市場が予想されます。

【図1】 米国のアルツハイマー型認知症の患者数（予想）



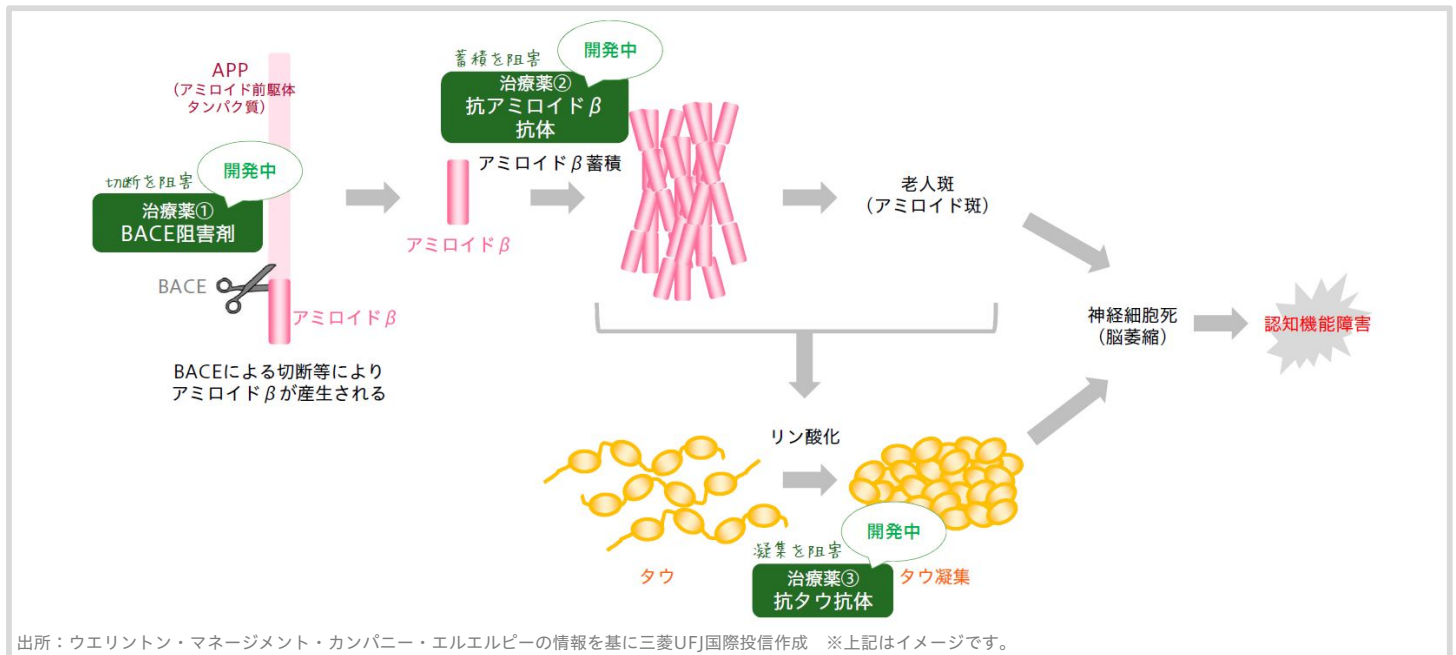
期間：2010年～2050年、10年毎 出所：alzheimer's association 「2017 ALZHEIMER'S DISEASE FACTS AND FIGURES」のデータを基に三菱UFJ国際投信作成 ※対象は65歳以上 ※過去の実績・状況であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

● アルツハイマー型認知症のメカニズム ●

アルツハイマー型認知症のメカニズムの全容はまだ明らかになっていません。しかし、1つの発症メカニズムとして、脳内に「アミロイドβ」や「タウ」といった特殊なたんぱく質が蓄積することで、神経細胞が破壊され、認知機能障害が起こると考えられています。

これらのメカニズムに注目して様々な企業が治療薬の開発に取り組んでいます。承認までにはまだ時間を要するものの、革新的な治療薬として期待されています。

【図2】 アルツハイマー型認知症の想定される発症メカニズムの一例と開発中の治療薬



出所：ウエルントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーの情報を基に三菱UFJ国際投信作成 ※上記はイメージです。

出所：ウエルントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーの見通しを基に三菱UFJ国際投信作成 ※1ページの「当資料に関してご留意いただきたい事項」を必ずご覧ください。

■投資信託に係るリスクについて ■投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としているため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動します。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみならず、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について ■ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。○購入時（ファンドによっては換金時）手数料…**上限3.24%（税込）** ※一部のファンドについては、購入時（換金時）手数料額（**上限37,800円（税込）**）を定めているものがあります。○購入時・換金時に直接ご負担いただく費用 ○信託財産留保額…ファンドにより変動するものがあるため、事前に金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を表示することができません。○投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用 ○運用管理費用（信託報酬）…**上限年3.348%（税込）** ※一部のファンドについては、運用実績に応じて成功報酬をご負担いただく場合があります。その他の費用・手数料…上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等でご確認ください。 ※その他の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。上記の費用（手数料等）については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計金額等を記載することはできません。《ご注意》上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の利率につきましては、三菱UFJ国際投信が運用するすべての公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の利率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等をご覧ください。